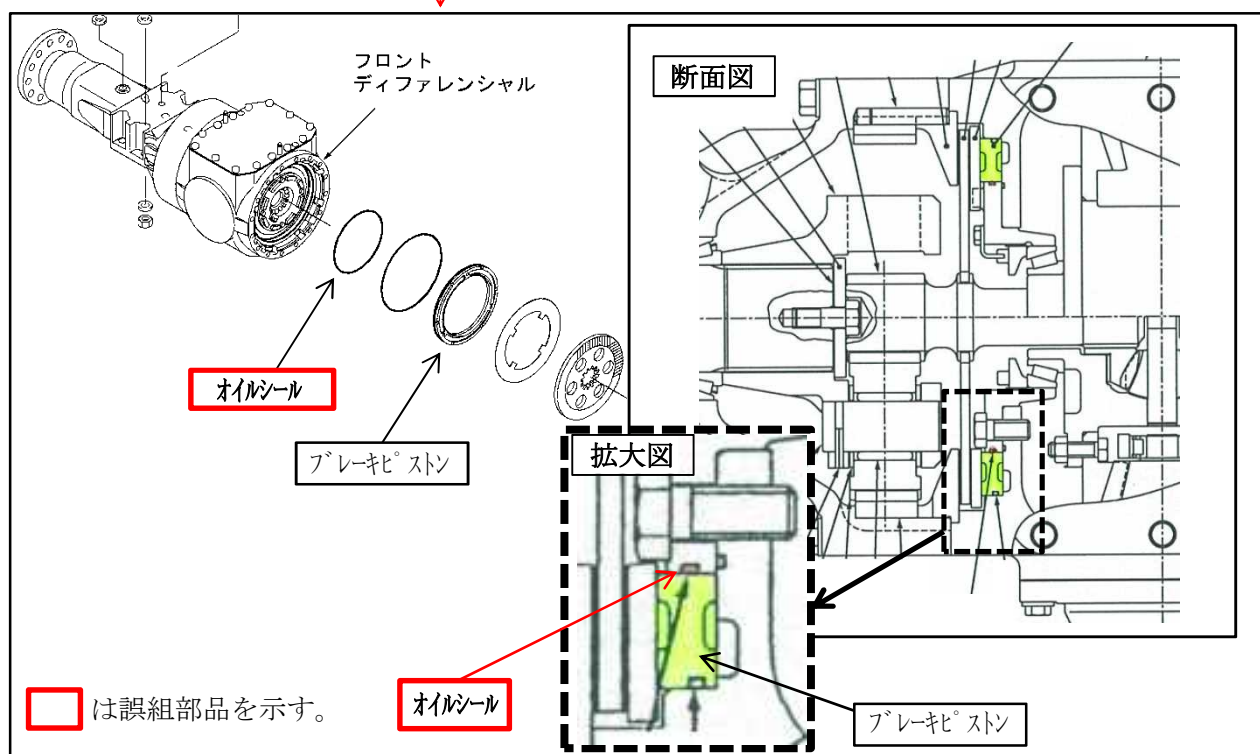
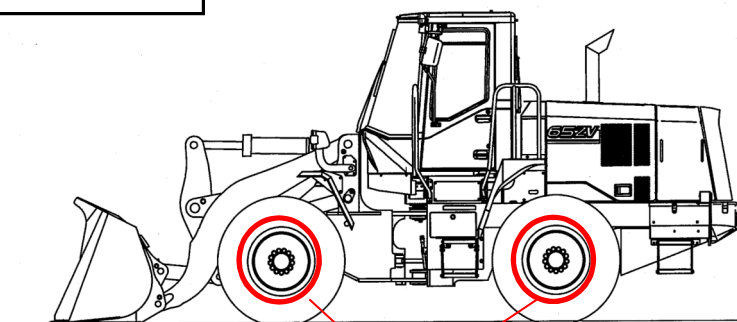


改善箇所説明図

代表車種：川崎 EDR-65J4（通称名：「65ZV-2」）

誤組部品箇所



制動装置のブレーキピストンにおいて、ピストン部に誤ったオイルシールを組み付けたため、シール性が不足しているものがある。そのため、ブレーキ液が漏れ、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキ液が減少して警告灯が点灯し、最悪の場合、制動力が低下するおそれがある。

改善処置内容

全車両、ブレーキピストン部のオイルシールを正規品に交換する。